

第33回

群馬県少年剣道錬成大会

もてなしライオンズカップ

男子二年の部
六年の部
一年の部
女子五・六年の部
一・二年の部

優勝 榊梅
準優勝 榊梅
三位入賞 寺本堂 永田平 森原山

平成十六年十一月三日
文化の口、高崎市もてなし
広場で剣道高崎支部主
催の第三三回群馬県少年
剣道錬成大会が開催され
ました。昨年の三二回は
会場が高崎フエアリーラ
ンドカップピアでした。
同園が長い歴史に終止符



やったり寺本選手(中島)

を打って閉園され、この
大会も継続が困難か？と
危ぶまれました。しかし

三十二年と
ゆう大きな
軌跡は、そ
う簡単には
途絶えさせ
られない、
だって県内
唯一の野外
試合なんだ
からと支部
スタッフた
ち。もう早
春から企画
を練り練り
始めました。

も場所が肝心と、
いくつか候補
をあげそれぞ
れについて協
議をした結
果、最終的
に高崎市も
てなし広場
で開催する
ことが決まっ
たのであり
ます。この
広場は旧高
崎市庁舎あ
とで今では
休みの口に
はいろんな行
事が催され
多くの人達が
この場で交流し
今では高崎市の
庶民文化の発信地
といっても過言では
ないほどです。そもそ
もこの「もてなし」の名
前の由来は遠くから訪ね
てきた旅人をこの広場

第12号
発行場所 町内
高崎市 石原館内
高崎 武道館
発行責任者 高崎支部
剣道連盟 高崎支部
広報担当 上條



に招き高崎の人々の自然
な人情をもって暖かくお
もてなしをする・・・
そんな気概のもとに名付
けられたのではないでしょ
うか。そのような意味
においては、全県下、
北は利根郡、東は館
林、結して近くと
は言えない地域か
らほるるる来訪
する選手達を迎
えさせて頂く
には絶好の会
場とあいなつ
た訳です。運
営上の難関は
駐車場の問題
でした。しか
しかなり早期
から周辺の駐
車場候補地に
働きかけを行
い、JTたば
こ産業跡地、中
央小、高松中、
高崎保健福祉事務
所らのご協力をい



ただいで十分なスペースを確保することができませんでした。当日は支部の皆さんとライオンズの皆さんが各駐車場に張り付き来訪者を案内したため、全く混乱も事故もなく駐車場の問題はスムーズに解決運営ができたようです。

当日の天気は朝のうちちよいと渋りがち、でも雨が降らなくて最高だ。支部の多くの皆さんがこれまで尽力してきた大会だ。雨などで流れては大変。文化の日はこれまで統計的にもいい日を私達に与えてくれていてるんですね。この日もちよつと時間がたてば爽快な日差しが選手達を勇気づけてくれました。

開会式では橋本支部長が「新潟で大地震が起きてしまった折り、こうして剣道の大会が無事に開催できることに感謝したい」と挨拶されました。また



熱く燃えて：駒込さん

松浦市長を代理され市役所の上原さんが二四万市民を代表して皆さんを歓迎します。また大会運営を含めてご後援をいただいた高崎中央ライオンズクラブを代表されて駒込さんが「熱くあつく燃えていただきたい」と出場選手を激励いたしました。

選手宣誓は昨年の男子五年の部優勝永田君（中島道場）が「このもてなし広場で剣道ができることに感謝しながら正々堂々と戦う」と誓いました。



宣誓：永田選手

試合は十四会場を開始されました。それはもうこの広場は広いから、これまでの会場カッパピアでは、多少観戦の立場からもちよいつと窮屈な環境であったのですが今年にはほんとうに余裕である。我が子の出場前は周辺の小山のいただきでくつろぐ家族が多く見うけられました。また選手達も他の試合の選手たちと交錯



渾身の技を放ちあう選手たち

することもなく思い切つて戦えたのではないだろうか。

さて、高崎支部の子どもの活躍はいかがだったでしょうか。まずは第七会場です。中島道場の寺本選手。多くの選手を退け見事ライオンカップ拝受です。そして激戦区男子六年第十四会場中島道場永田君。選手宣誓のとおり正々堂々昨年続き決勝進出だ。相手は笠懸剣友会の納谷選手です。大柄の体躯から繰り出す俊敏な面技はなかなかである。結局この鋭い面技が、永田選手の得意の防御をかくぐり二本決まってしまうました。永田選手惜しくも

準優勝です。また男子一年の部で森平選手も準優勝、そして女子五・六年の部で原沢選手一・二年の部で山田選手が三位に入賞いづれも中島道場選手です。そのほか男子五年の部で松浦（中島）六年の部で城田（中島）男子二年の部では須田道場の犬田選手がそれぞれベスト8に入賞しました。全体結果としてはやや東高西低といった感じですが、あたらしい会場を得たこの大会、ぜひ高崎の仲間達には地の利を活かして来年はもっと多くの選手達が上位に食い込めることができるよう頑張つて欲しいと思います。



シューズ・タオルはいかかがと小池先生と長井母娘

また新しい試みとして風船割御立ち合いがエントリー制で行われました。この風船ほつておいても自然と割れることもあるのにいざ割つてやると力むとこれがなかなか割れません。竹刀でたたくと右に左に優柔不断と動き回り挙げ句の果てにはとれてしまう例も多くありました。いや普通の試合とはかつてが違うもので



風船割りなら負けません：高木選手（高剣）

すね。それでも評判で結構真剣に参加していた子どもたちも多かったです。パカんと音をたてて風船が割れた時は「やったあ」と爽快

高崎支部入賞選手たち

男子一年	森平	雄木	準優勝	中島道場
男子二年	寺本	欣将	優勝	中島道場
	天田	祐也	四位	須田道場
男子三年	松浦	倫仁	四位	中島道場
男子六年	永田	真隆	準優勝	中島道場
	城田	征	四位	中島道場
女子一二年	山田	美香	三位	中島道場
女子五六年	原沢	孝亮	三位	中島道場



部長先生？千円義援

この日、大会事務局テント脇に新潟大地震被災義援募金箱がおかれました。皆さんから二万九千七百の貴重な義援金が募り、朝日新聞高崎支局を通じ被災地へ送られました。

販売もありましたよ。とにかくよく売れたそう。来年にむけて、また多くの企画をねって参加者全員が秋の日和をゆつくり一日楽しめるそんな大会になればいいと思います。

もみじ平：どみおかしみんたいのいのかん

第2回西毛地区剣道大会

団体優勝旗 眞選
小学生ミラケイパワー
☆☆☆☆☆ 大爆発



団体優勝を拝す石田キャップ



みじ平の文字通り、紅葉の輝く場所です。はじめの平みは自然史の



先鋒で大活躍：加部選手

十一月一四日第二七回西毛地区剣道大会が開催されました。主催持ち回りのこの大会。今年度は甘楽富岡支部の主催で富岡市上黒岩のもみじ平で行われました。晩秋のも

さん助さん かつかつか @@" のあの名優東野英二郎さんの生誕地でもあり、また団しん也さんもここ富岡の出身であります。このかぶらの谷は上州でもきわめて温暖で山

総合成績表

ここみてよ

支隊名	安中碓氷		群馬郡		高崎		藤岡多野		甘楽富岡	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
小学生	2	1	2	2	5	5	4	3	3	4
中学生	1	1	2	4	4	3	3	5	5	2
高校生	1	1	5	5	4	4	2	3	3	2
一般	1	1	3	5	4	4	2	3	5	5
総合得点	8		22		29		22		24	
総合順位	5		3		1		4		2	

博物館やかぶら文化ホールなどの教養文化施設が隣接してありますし、また片倉製糸の工場跡を世界文化遺産登録にと、甘楽富岡は文化活動の極めて盛んな地でもあります。剣道も正気館道場を核に大変盛んな地であり多くの優秀剣士を輩出してあります。またそうそう水戸黄門さま”格

紫水明風光明媚な土地柄で市民のみなさんもことのほか穏やかな人柄が多いように見受けられます。さて大会の様子です。支部が送り出した選手は総勢三十一名、小学生から高校生は市民大会の実績と日常の剣道に対する姿勢を加味して選抜されました。そして見事にのけたんです。取り返しましたよ！昨年群馬郡に奪われてしまった団体優勝旗。頑張ってくれたんで子どもたちがね。小学生の部が男女ともにもいづれも他支部のチームを退け全勝優勝でした。他のチームも優勝こそ逸したもののそれぞれ善戦です。結果総合得点二十九点を、順位に五つの差を付け団体賜杯を勝ち取りました。準優勝は一般の部と中学生の部を制した当地甘楽富岡支部でした。主催地の意地が見事に発揮されました。

さん助さん かつかつか @@" のあの名優東野英二郎さんの生誕地でもあり、また団しん也さんもここ富岡の出身であります。このかぶらの谷は上州でもきわめて温暖で山

紫水明風光明媚な土地柄で市民のみなさんもことのほか穏やかな人柄が多いように見受けられます。さて大会の様子です。支部が送り出した選手は総勢三十一名、小学生から高校生は市民大会の実績と日常の剣道に対する姿勢を加味して選抜されました。そして見事にのけたんです。取り返しましたよ！昨年群馬郡に奪われてしまった団体優勝旗。頑張ってくれたんで子どもたちがね。小学生の部が男女ともにもいづれも他支部のチームを退け全勝優勝でした。他のチームも優勝こそ逸したもののそれぞれ善戦です。結果総合得点二十九点を、順位に五つの差を付け団体賜杯を勝ち取りました。準優勝は一般の部と中学生の部を制した当地甘楽富岡支部でした。主催地の意地が見事に発揮されました。

大会出場選手

- 【小学女子】 先鋒 酒井晶子 中堅 岡田沙希 大将 原沢李恵
- 【小学男子】 先鋒 加部達哉 次峰 城田柁 中堅 佐藤空太郎 副将 藤田貴士 大将 永田真隆
- 【中学女子】 先鋒 市川祐里佳 中堅 高橋麻理恵 大将 庭屋葉月
- 【中学男子】 先鋒 得居勇斗 次峰 吉井秀利 中堅 城田駿 副将 今井洋輔 大将 竹内駿
- 【高女一般】 先鋒 清水美奈 次峰 清野唯 中堅 登丸真里 副将 磯部摩耶子 大将 松本牧
- 【高校男子】 先鋒 市川裕也 次峰 箱田浩之 中堅 亀田裕昭 副将 関口惇也 大将 田村元気
- 【一般男子】 先鋒 小笠原俊介 次峰 西山篤史 中堅 井口裕史 副将 鈴木秀樹 大将 石田寛

【総監督】 笠井秀昭先生

(みなさんお疲れさまでした)



こども大活躍小学生女子

スポーツ少年団 高崎剣道交流大会

十一月二三日高崎武道館で高崎市スポーツ少年団剣道交流大会が開催されました。支部では年の最後の大会です。八道場総勢百六十余名の選手が出場しました。

開会式では大会委員長の本多先生そして中島群剣連会長がそれぞれ激励の挨拶をされました。また来賓としてスポーツ少年団団長国峰さんが「総合開会式の時からみるとみんな一回りも二回りも大きくなった。スポーツは多くが外来ですが剣道は日本から発信するスポーツです。世界平和のためにスポーツがありそれを担っていくのが少年少女団です。どうか素敵な仲間を

間をくつ下さい。と挨拶されま

試合は三会場で行われ、小学生女子の部二年は山田選手が昨年続き優勝、三年は警察少年剣道教室が一、二位を独占。五年の部では中央道場の西澤選手が快挙です。六年の部ライバル



小学女子5年西澤選手：中央道場

同じ、岡田飯塚の戦いは岡田に軍配、また中学生女子中一では市川選手が安定した技で優勝。二年の部は庭屋葉月選手気合の試合運びで優勝です。男子小二の部、寺本もてなし大会に続き優勝。小三久保松浦の決戦は久保にあり小五は剣道教室の高橋伸夫選手昨年に続き優勝です。小六の部決戦中島道場永田と金井道場藤田これもライバル同士激戦であった。奮闘時間十五分あまり最後は永田の返し胴がバツシと決まり勝敗を決しました。中一の部



国峰団長あいさつ：素敵な仲間を

第26回 高崎市スポーツ少年団 剣道交流大会 結果

- | | | | | |
|-----|-----------|-----------|----------|----------|
| 小2女 | ①山田(中島) | ②西岡(高剣教) | ③新宮(新高尾) | ④植原(高警少) |
| 小3女 | ①星野(高警少) | ②高山(高警少) | | |
| 小4女 | ①下谷南(中島) | ②中島泉(高警少) | ③関(高警少) | |
| 小5女 | ①西澤(中央) | ②井上(新高尾) | ③志水(金井) | ④佐野(金井) |
| 小6女 | ①岡田(須田) | ②飯塚(新高尾) | ③永井(高警少) | ④苑地(高警少) |
| 小1男 | ①森平(中島) | ②橋谷(中央) | | |
| 小2男 | ①寺本(中島) | ②豊泉(中島) | ③天田(須田) | ④高橋大(中島) |
| 小3男 | ①久保(中島) | ②松浦倫(中島) | ③大塚(高剣教) | ④岡本(高剣教) |
| 小4男 | ①高橋洋(中島) | ②高川智(中島) | ③横澤(新高尾) | ④浅香(中島) |
| 小5男 | ①高橋伸(高剣教) | ②堀野(金井) | ③加部(須田) | ④山崎(金井) |
| 小6男 | ①永田(中島) | ②藤田(金井) | ③谷(高剣教) | ④城田(中島) |
| 中1女 | ①市川(中島) | ②安藤(中島) | ③須藤(高警少) | ④松浦倫(中島) |
| 中2女 | ①庭屋葉(中島) | ②船田(高警少) | ③植田(慶雲館) | ④高橋麻(中島) |
| 中1男 | ①庭屋貴(中島) | ②長谷川(須田) | ③下谷巧(中島) | ④川山(高警少) |
| 中2男 | ①竹内(中島) | ②今井(中島) | ③入沢(高警少) | ④井田(新高尾) |



少3男子久保：中島道場



中1男子庭屋：中島道場

優手屋は、兄弟とも一ツにガツツです。二の部では小兵ながらますます技に磨きのかかるといいます。この大会は小学生は優勝しました。この大会は小学生は優勝しました。この大会は小学生は優勝しました。

道場連盟県大会(12月4日) 下谷南彩美(中島)、26名の選手を退け堂々県大会で優勝です。他の数多く入賞しましたよ。



おります。結果が見られるのは春の大会です。楽しみにしております。

祝 谷 勝彦 さん 八段合格



☆☆ ☆☆

岩佐 泰信 さん 六段合格



今秋吉井高校で教鞭をとる谷さんが大難関を突破し見事に八段審査に合格をされました。小さい頃から高崎支部で育っていった谷さんが頂点ともいえる八段位を取得されたことは私たち高崎支部で剣道するものたちにとっておおきな誇りであります。また岩佐泰信さんが六段に合格をされました。自営のお仕事を抱えながらの挑戦がめでたくなかったです。

共にこころからお祝い申し上げます。

編集後記

早くも年の瀬と相成り申した。すでに納会を済ませ後は除夜の鐘を待たせと、いろいろありますが、本年最終便をなかなか手がける時間がななくてこんなに押し詰まってから始末を付けることになってしまいました。当号は極めて乱雑の結果になってしまいました。支部の皆さん悪しからずごめんなさい。また来年も大好きな剣道を一杯やりたいですね。そのためには健康が第一。私達たそがれ剣士はもう剣道が人生のようなものですから・・・広報 上條